

令和7年度 学校評価(自己評価)結果

実施:令和8年3月 教職員アンケート(昼間部のみ)

評価基準 (4 十分達している 3 概ね達成している 2 改善の余地あり 1 検討が必要)

事項	番号	評価項目	R5年度	R6年度	R7年度
教育理念・目的・人材育成像	1	理念・目的・育人人材像など学科の特性が明確になっているか	3.6	3.5	3.5
	取組等	職業実践専門課程認定校として、基礎力重視の実践教育を通じてプロ意識を持った即戦力を育成すべく各学科・専攻において、学生の特性や業界のニーズを踏まえながら、「目指す学生像」「教育課程編成方針」などを毎年見直しています 今後も引き続き、企業との連携を密にし、業界の変化をとらえながら学科や専攻を横断する取組や連携を進めていきます。			
	2	各学科の教育目標・育人人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.6	3.6	3.5
	取組等	職業実践専門課程認定校として、各専攻5社(企業)と連携協定を締結。各業界で活躍するプロを講師に招いて、実践的な授業を行い、即戦力となれる人材の育成を図っています。また、年2回「教育課程編成委員会」を開催し、7名の企業関係の方々から業界の動向等について意見を聴取しています。 今後も、社会や業界の変化を把握しながら、定期的にディプロマポリシー、カリキュラムポリシーなどの見直しを行っていきます。			
学校運営	3	目標等に沿った学科運営方針が明確になっているか	3.5	3.6	3.4
	取組等	毎年、各学科・専攻において学校目標を実現するため、学生の実態や変化、社会や業界のニーズ等を踏まえ、学科運営方針を見直しています。また、これらについては講師会議や教育課程編成委員会等においても共有しています。 今後も、講師との連携及び情報共有を密にして、運営方針の具現化に努めていきます。			
	4	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.6	3.3	3.4
	取組等	学校案内(パンフレット)やホームページ、SNSなどを通して適宜適切に情報公開を行っています。高校生に興味を持ってもらえるよう学科・専攻毎にSNSを通じて、教育活動の様子を発信していますが、さらにスピード感を持った情報発信が必要。多くの企業と連携した取組を行っていますが、発信が十分とはいえないので、改善に努めます。			
教育活動	5	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が示されているか	3.7	3.6	3.6
	取組等	各専攻の専門性を重視し、教育課程編成委員会での助言等を参考に、教育課程の改善を行っております。また、企業連携による課題制作やコンペティションへの参加、校外学習、グループ制作展等を通じて、実践力の育成、専門的な知識と実技のバランスに考慮した教育活動を進めています。			
	6	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.7	3.5	3.6
	取組等	学則をもとに教務規程を定め、成績評価や単位認定の基準に従って進級並びに卒業認定を行っています。これらの基準等については、入学後のオリエンテーションにおいて学生に説明しております。 発達障害やメンタルに不安を持つ学生が増えていることから、学生の実態や時代の変化に即したものととなるよう不断に見直しを図っていきます。 学校教育法の改正に合わせ、学則と教務規程を改正し、単位認定をこれまで以上に厳格に行くことにしました。			

教育活動	7	資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか	3.4	3.5	3.6
	取組等	学校目標の一つでもある「社会人基礎力」を身につけさせるため、ビジネス能力検定について学科や専攻を問わず担任授業の中で指導するとともに、受検料の補助を行っています。また、各専攻の専門分野に対応した各種検定についても、在学中受検が可能となるよう課外指導を含め指導や支援を行っています。			
	8	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる指導体制を確保しているか	3.5	3.3	3.3
取組等	各学科・専攻においては、業界との結びつきを深め、積み重ねてきたキャリアを教育の場で活かすことができる人を講師として採用しています。専任教員については、校内研修や北海道私立専修学校各種学校連合会の「『職業実践専門課程』に係る研修会」などの外部研修会への参加などにより資質向上を図っています。 今後、定年者が増えることから、ノウハウを組織的に構築できるようマニュアル作りを進めています。				
学修成果	9	就職率の向上が図られているか	3.4	3.2	3.4
	取組等	就職課の専任職員が、入学直後からガイダンスや面談を積極的に行うなど、計画的に就職指導を行っています。また、企業との連携により校内企業説明会を頻繁に開催し、ポートフォリオの添削や社会人として心構えなどを企業の方から直接話していただく機会を設けることで、学生が早期から就職意識を持つようになり、昨年度の就職率は98.9%となりました。 一方、一般企業への就職を希望しない学生が一定数います。また、不登校経験やコミュニケーション能力に難がある学生も少なくありません。 また、DXの進展により紙媒体の需要が減少し、業界そのものに大きな変化が見られます。			
	10	退学率の低減が図られているか	3.0	2.9	3.1
取組等	不登校歴や発達障害、メンタルに問題を抱える入学者の増加もあり一定数の退学者が出ていますが、担任による面談など懇切丁寧な指導により、退学者数の増加に歯止めがかかっています。 今後も、外部機関との連携を密にし、担任を中心に学生との適宜適切な面談や家庭との連携により丁寧な指導に努めていきます。				
学生支援	11	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.4	3.4	3.5
	取組等	1年生の早期より就職ガイダンスや就職希望調査を行うとともに、インターンシップ、就職活動セミナーや企業説明会などへの積極的な参加を促しています。また、就職課と担任との連携を密にし、個人面談・三者面談などを通じて、求人企業と学生のマッチング等、学生一人一人の希望と特性を踏まえた指導を丁寧に行っています。 フリーランス希望が一定数いることから、校内でのガイドラインを作成するなど多様化する働き方に対応する指導を進めています。			
	12	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.6	3.3	3.5
取組等	本校独自の奨学金・支援制度(給付型)の充実により学生への支援を行っています。また、公的な奨学金や給付金などについても、校内において複数回にわたり説明会を実施し、返済等将来を見据えた適切な利用について丁寧に指導しています。 今後も、総務事務を窓口として、支援体制の周知に努めていきます。				
教育環境	13	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3.4	3.4	3.3
	取組等	学生一人一台端末を整備し、国の補助を利用しながら定期的にPC等の情報インフラの更新を行っています。学科・専攻の特性に合わせ、最新の技術を身に付けることができるよう相当額の費用をかけてICT環境の充実を図っています。 また、インターンシップについては、全員保険に加入させ、積極的に参加させています。海外研修については、香港を予定していましたが、旅行費用が高騰し参加者が少なかったため中止としました。 海外研修については、国内研修への変更も視野に入れ、今後も学生たちの負担や教育効果等に配慮しながら行っていきます。			
	14	防災に対する体制は整備されているか	3.3	3.3	3.4
取組等	各室に管理責任者を置き、火気管理をはじめとして防火・防災等の分担責任を定めています。また、消防設備点検は業者により6ヶ月毎に実施するなど法にもとづいた各種点検を行っています。なお、校舎は耐震基準を満たしております。 今後も、校舎内外の整理(不要なものの処分を含む)を行っていきます。				

学生 の 受 入 募 集	15	学生募集活動は、適正に行なわれているか	3.4	3.2	3.0
	取組等	オープンキャンパス、学校説明会、高校への個別訪問等を通じて本校の情報や魅力を発信しています。広報に利用するデータについても正確に伝えています。出願、選考等に日程についても北海道私立専修学校各種学校連合会の指針に従った適切なものになっています。 18歳人口が減少し続けているので、ターゲットを広げた募集活動のあり方を検討するとともに、オープンキャンパスの実習メニューなど内容の工夫・改善に努めます。			
	16	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.3	3.1	3.0
	取組等	学生募集用のパンフレットや本校のホームページで就職率やコンペティション入賞等学生の活躍を紹介していますが、広く十分に伝わっていないので、特にメインターゲットである高校生に向けてのSNSを活用した発信の強化に努めます。また、広報部と教務部の連携をより一層密にし、本校の素晴らし教育成果を伝える取組を進めます。			
財 務	17	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.4	3.2	3.2
	取組等	無借金の学校経営が続いており、財務諸表をホームページにも公開しています。経営状況は極めて安定しています。			
	18	財務について会計監査が適正に行われているか	3.6	3.5	3.5
取組等	会計監査は監査法人により年3回(12、4、6月)実施し、その後本学園の会計監査を実施しています。財務について、適正な判断がなされておりホームページ上に公開しています。財務上の問題はまったくありません。				
法 令 の 遵 守	19	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2	3.4	3.3
	取組等	個人情報保護基本方針を定めて、個人情報の保護に万全を期しています。個人情報保護法に基づき、出願者、入学者、学生はもとより、講師を含めた教職員の個人情報等に関しても、情報管理の一元化や管理体制の厳格化に努めています。 今後も、個人情報の取り扱いについては、慎重かつ丁寧に進めていきます。			
社 会 貢 献 ・ 地 域 貢 献	20	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.4	3.5	3.5
	取組等	札幌市教育委員会主催の小・中学生対象の仕事体験等の進路学習への協力、学校主催のワークショップの開催など、地域・社会に開かれた学校として社会貢献活動を行っています。学校祭や卒業制作展に開催に当たっては近隣の幼稚園や小学校に案内しています。また、北海道や北海道警察、札幌市などからポスターや映像の制作依頼を受け、学生が作成した作品が、道内・市内各所に掲出・放映されています。			
国 際 交 流	21	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3.2	3.2	3.2
	取組等	イギリスの国立プリマス大学とカナダの州立キャピラノ大学と短期交換留学の連携協定を締結しております。令和7年度はキャピラノ大学から1名、プリマス大学から2名の留学生を受け入れました。本校からは希望者がなく派遣はありませんでした。受け入れ、派遣ともに学校から奨学金(10万円)を給付し、留学が実りあるものになるよう支援しています。 今後も、両校との連携を大切にして、積極的な受け入れや派遣を進めていきます。			